

## ワンデーセミナー

### 東アジア＝欧州間マルチモード国際物流の現状と展望 ～北極海航路・ランドブリッジ・スエズ運河～

(科研費課題「アジア・ヨーロッパ大陸間のマルチモード国際物流  
シミュレーションモデル構築と政策分析」公開中間報告会)

東アジアと欧州の間の国際貨物輸送は世界の基幹航路のひとつであり、これまでスエズ運河経由の海上輸送が中心となってきました。本セミナーでは、スエズ運河だけでなく、その代替ルートとなり得る北極海航路 (NSR) やランドブリッジ (シベリア/チャイナ)、航空輸送、さらにはパナマ運河経由なども含めた各ルートの現状と今後の展望を紹介します。

また、主催者である科研費課題の研究グループでは、各ルートに関連した様々な視点に基づく定量的な分析や、物流政策のシミュレーションが可能となるような物流モデルの構築などを行っており、その中間成果 (4年計画の2年目終了時) についても報告します。あわせて、各セッション (北極海航路、ランドブリッジと中央アジアの物流、2大運河と東アジア＝欧州間輸送) ごとに外部の専門家をお招きし、コメントをいただきます。

#### ◆主催

科研費課題「アジア・ヨーロッパ大陸間のマルチモード国際物流シミュレーションモデル構築と政策分析」(基盤B) 研究グループ (研究代表者: 柴崎隆一、国土交通省国土技術政策総合研究所)

◆日時: 2015年7月4日(土) 10:00-17:20

◆会場: 東京大学本郷キャンパス工学部1号館1階14号講義室 (東京都文京区本郷7-3-1) (案内別紙)

◆参加費: 無料 (事前登録制)

#### ◆参加申し込み方法

柴崎 (shibasaki-r92y2@mlit.go.jp) まで所属・氏名・連絡先 (メールアドレス)・懇親会参加の有無をご連絡ください。

資料用意の都合上、締切は6/30とさせていただきます。

#### ◆問い合わせ先

国土交通省国土技術政策総合研究所 国際業務研究室 柴崎  
電話: 046-834-9584、メール: shibasaki-r92y2@mlit.go.jp

## ◆プログラム（予定）

10:00-10:10 主催者挨拶（研究代表者）

### 10:10-12:00 セッション1：北極海航路の現状と将来

- 北極海航路の現状と展望 柴崎隆一（研究代表者、国総研）
- 北極海航路利用のコスト分析 古市正彦（連携研究者、京都大学）
- ヤマルLNG運用の物流シミュレーション 石黒一彦（研究分担者、神戸大学）
- NSR利用による我が国のLNG調達先の多様化と経済へのインパクト 宇佐見幹・加藤浩徳（研究分担者、東京大学）
- ◇ ゲストによるコメント 大塚夏彦氏（北日本港湾コンサルタント）
- ◇ フリーディスカッション

### 13:00-14:40 セッション2：ランドブリッジと中央アジアの国際物流

- シベリアランドブリッジの概要と展望 柴崎隆一
- チャイナランドブリッジの概要と展望 町田一兵（連携研究者、明治大学）
- 中央アジア地域を対象とした国際物流モデル 田邊怜・田中啓太郎・加藤浩徳（研究分担者、東京大学）
- ◇ ゲストによるコメント 新井洋史氏（環日本海経済研究所）
- ◇ フリーディスカッション

### 15:00-17:00 セッション3：2大運河の動向と東アジア＝欧州間輸送

- スエズ運河およびパナマ運河の現状と展望 柴崎隆一
- チョークポイントにおける船舶サイズの制約と大型化、および船舶の航路選択モデル 古市正彦／柴崎隆一
- エネルギー資源の国際輸送におけるリスク評価 鳥海重喜（研究分担者、中央大学）
- ソマリア周辺海域における海賊活動の地理的分布の変化 鳥海重喜／渡部大輔（研究分担者、東京海洋大学）
- 東アジア＝欧州間貨物輸送における航空輸送と海上輸送の分担 柴崎隆一／神波泰夫（連携研究者、パシフィックコンサルタンツ）
- ◇ ゲストによるコメント 松田琢磨氏（日本海事センター）
- ◇ フリーディスカッション

17:00-17:20 総合討議（今後の研究の方向性を中心に）

17:30- 懇親会（本郷近辺）

東京大学本郷キャンパス 工学部1号館

地下鉄丸の内線・地下鉄大江戸線 本郷三丁目駅 約10分

地下鉄千代田線 根津駅 約10分

地下鉄南北線 東大前駅 約5分

地下鉄三田線 春日駅 約15分

